

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、ありたま圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和4年11月2日（水）9時30分から11時20分まで
参加者	委員：8人 事務局：1人 その他：10人（高齢者福祉課：3人、東区長寿保険課3人、積志協働センター1人、包括支援センターありたま：1人、浜松市社協：2人）
場 所	積志協働センター 302 講座室
内 容	<p>【開会】 会長より開会の挨拶</p> <p>【前回の振り返り】 ・会議録に基づき、前回の協議体の内容についての説明を行う</p> <p>【協議事項】 (1) 憩いの家 居場所づくりについて <u>委員からの意見</u></p> <p>【備品等の確保について】 ・テレビは設置済。座卓はあるが少し座りづらいため長机と椅子の購入について検討する。（地域力向上事業の活用も検討する）</p> <p>【活用方法、地域の状況について】 ・現況の活用状況について⇒自治会の会合が月に数回あるが、あまり活用されていないのが実情。 ・例えば土日に子供たちが勉強をやりきたりもできる。それ以外の時は近隣高齢者がコーヒーでも飲みこれるようにしたい。憩いの場になれば ・若い世帯について⇒小学生は全部で13人、それ以下の子供たちはいる。この地区に多いとき小学生が60人ぐらいいた。 ・近隣住民 千人塚団地の人はこの場所を認知しているか。 ・近くに馬込川水辺の公園もあり、居場所に限らず、イベント的なことや子ども達が集まる場所、地域の拠点、認知されればいい場所になる。 ・憩いの家の利用を地区全体で考えると、地元自治会以外の人が多く集まった場合、地元住民がちゃんと受け入れてくれるのか整理する必要がある。 ・初めは、地元の自治会（近隣住民）と考えている。まずは、憩いの家がモデルの居場所となり、それがだんだん広がっていければ、他の地区にも波及効果があるのでは。 ・まずは、地元の人に憩いの家を知ってもらい、「この場所だったらこんな事ができる」という発想をこの地域に住んでいる地元の人から意見を頂きたい。まずは、地元の方に利用していただき、モデル的な居場所となり、それぞれの委員が「これだったら自分の所でもできる」という気持ちになればいいと思う。 ・運動公園から水辺の公園までウォーキングして憩いの家でなにか飲み物を出すのもいいではないか。地区社協でも運動公園を利用しているので憩いの家を</p>

	<p>使ってなにかイベントができると思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の地区社協でも佐鳴湖を一周ウォーキングするイベントがある。憩いの家の周りを散策する案はいいと思う。 ・ウォークラリーという発想はいいことだと思う。地域を散策すれば、新たな発見も出てくると思う。 ・ウォークラリーに歴史的要素も入れて子どもたちに伝えていけたらよい。 ・活動しないと人が集まってこない。一人ずつ増えていけば仲間も増えるのではないか。 ・ゆくゆくは運動公園でグランドゴルフをやって憩いの家で食事をするようなこともできる。 ・最初は子供も誘いウォークラリーをしてもらい、欠下平自治会の人に憩いの家をしてもらう。欠下平の人に理解してもらった上で自分たちも使いたい。 ・まずは地元で憩いの家を利用し、そこから広げていきたい。 <p>事務局より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の成果として、居場所づくりについてはウォークラリーを開催するため、自治会に説明し、理解してもらい、チラシを作成し、欠下平自治会に回覧していく。 <p>居場所についての質問</p> <p>質 問；竜西荘や庄屋公園を居場所として使うにはどうすればよいか</p> <p>回 答；竜西荘について、同好会等団体は予約をとってもらっている。空いていれば利用可能。地域住民であれば空いていれば使えますが、地域の公会堂などとは違い、専有することが難しい。</p> <p>意 見；憩いの家が西の居場所ならば、東の拠点として活用方法があれば良いと思う。</p> <p>(2) 第3回協議体開催について 令和5年2月22日(水)開催予定。</p> <p>【閉会】 副会長より挨拶</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所(憩いの家)の周知に向けて、ウォークラリーのイベントを開催する予定。自治会への説明、チラシを作成し回覧する。